

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号 600-8652

「京銀輝く未来応援ファンド」第11号案件への投資について

～ iPS 細胞由来の心筋組織片を開発・製造販売する「株式会社 幹細胞&デバイス研究所」へ出資～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、平成 28 年 2 月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 奥野 浩）と共同で設立した「京銀輝く未来応援ファンド投資事業有限責任組合（略称：京銀未来ファンド）」は、第 11 号投資案件として「株式会社 幹細胞&デバイス研究所」へ出資いたしました。

「株式会社 幹細胞&デバイス研究所」は、新薬開発において薬の有効性や安全性を確認するために使用するヒト iPS 細胞由来の細胞製品の研究・開発を行う企業です。高い機能性と安定性を併せ持つ当社の細胞製品は、新薬開発の効率向上・コスト削減・期間短縮につながる事が期待されており、今回「未来ファンド」では、独自の開発技術と先進的な研究成果により健康社会への貢献を進める当社への出資を実施いたしました。

当行では、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等に投資を行う当ファンドを通じ、創業段階から成長段階といった幅広いステージの企業を積極的に支援し、今後もさらなる地域経済の活性化と地方創生に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

| | |
|-------|---|
| 企業名 | 株式会社 幹細胞&デバイス研究所 |
| 代表者 | 代表取締役 加藤 謙介 |
| 本社所在地 | 京都市下京区鶏鉾町 4 8 0 番地 オフィス・ワン四条烏丸 1 1 階 |
| 設立 | 平成 26 年 5 月 29 日 |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">・ ナノファイバー等の機能性材料および細胞適合性足場材料などの研究開発・ iPS 細胞など多能性幹細胞からの各種細胞生産技術の高度化に関する研究開発業務・ 微細加工・ナノテクノロジー、および素材の評価・加工・成形技術を利用して培養した細胞、組織片、細胞デバイスの開発、生産、販売、およびこれらを利用した細胞・組織応用製品の開発、生産、販売業務 等 |

2. 投資額

30,250,000円

3. 投資について

新薬開発において、薬の有用性や安全性を確認するために使用する iPS 細胞由来の心筋組織片を開発・製造販売する「株式会社 幹細胞&デバイス研究所」に、製品の改良および量産化への開発資金として出資を行う。

4. 京銀輝く未来応援ファンドの概要

| | |
|--------|--|
| 名 称 | 京銀輝く未来応援ファンド投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド) |
| 投資対象 | 当行営業エリア内に本社を置く以下の企業 ・独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業等 ・後継者不在など事業承継ニーズを有する中小企業等 |
| 出 資 者 | 無限責任組合員：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員：株式会社 京都銀行 |
| ファンド総額 | 5億円 |
| 当行出資額 | 4億95百万円 |
| 設 立 | 平成28年2月25日 |
| 存続期間 | 10年(ただし、合意により2年間の延長可能) |

以 上